副会長　鄭　淳太

『One　Health』

皆さん、“One　Health”と言う言葉をご存じでしょうか。ほとんどの方が初めて聞かれたと思います。私も昨年、薬剤師会の学術大会の特別講演で東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授の賀来満夫先生の“新型コロナウイルス感染症が我々にもたらしたもの―現状と今後―の中で初めて聞きました。これからの感染症対策で重要なキーワードがこの“One　Health”であると述べられました。

“One　Health”とは、ヒトと動物、それを取り巻く環境（生態系）は、相互に繋がっていると包括的に捉え、人と動物の健康と環境の保全を担う関係者が緊密な協力関係を構築し、分野横断的な課題の解決のために活動していこうという考え方です。

感染症拡大には、社会環境、衛生環境、その国特有の食料環境等、様々な要因が考えられます。単に人類が健康であれば良いと言う考え方そのものが間違っているのではないでしょうか。人獣共通感染症の病原体は、野生動物と共存していた微生物で人類の健康のみならず、地球上の生態系の保全は、ヒトおよび動物の健康の両方が相まって初めて達成できます。その実現と維持のためには、ヒトと動物の健康維持に向けた取り組みが必要でると言われています。皆さんも今一度自身の周りの環境に興味を持って“One　Health”を覚えて帰って下さい。

世界中で新しい感染症が次々と発生しており、そのほとんど全ては人獣共通感染症

スライド提供:北大人獣共通感染症リサーチセンター

人獣共通感染症の病原体は、野生動物と共存していた微生物

Chaos（混沌）

ベトナム農務省　Huy技官より提供

人獣共通感染症の克服に向けた人材育成